



CONTENTS 2025年(令和7年)6月26日発行

ごあいさつ 2

- 今年度の活動方針 3
- 賛助会員の紹介 3
- 各種委員会の計画等 4
- 上半期の研修会等 4
- フロムぐんまちゃん 5
- 幼児教育センターより 5
- 新役員の顔 6~7
- 子どもの目線から 8
- 子どもと楽しむ絵本 8
- お知らせ 8



第61回定時総会

令和7年5月9日(金)ホテルラシーネ新前橋 曙の間において【第61回定時総会】が開催されました。

開会式では権頭会長よりユーモアにあふれる挨拶を、また群馬県副知事津久井治男様より祝辞をいただきました。令和6年度事業報告、決算、令和7年度事業計画、補正予算については原案通り可決され、役員改選では再任13名、新任7名、計20名の理事及び監事3名が承認され、知久賢治先生が会長に就任しました。

事業計画では組織改編(総務部、経営振興部、研究部の3部制→総務部、研究部の2部制)について説明がありました。また、群馬県松田直樹様より「私立学校法改正後はじめての定時評議員会」についてご指導いただき理解を深めることができました。

(三山幼稚園 田邊 裕代)

言葉にしなくても気持ちは一緒、2人の世界



ごあいさつ

「AIに負けない力」

一社) 群馬県私立幼稚園・
認定こども園協会

会長 知久 賢治



第61回定時総会にて皆様のご推挙を頂き、協会長の大役を拝命しました。歴代会長の皆様、これまで協会の発展に尽力された全ての先生方に、深く感謝申し上げます。これまで築き上げてきた歴史・風土を大切にしながら、新たに選任された理事・監事のみなさまと新たな課題に向けて、協会園のために進めていきたいと思ひます。

乳幼児期は、一人一人の子どもが、自分の良さや可能性に気づき、様々な他者を自分の同じ価値のある存在と尊重し、多様な仲間と共同しながら、困難を乗り越える力や基礎を培うこととされています。

その為には、単に知識や技術を繰返し教え込むことはこの時期にどんな意味を持つのでしょうか。子どもの主体性を大切にしたい様々な体験や、何よりも「遊び」を大切にしたい日々の園生活を担保してあげることが私たち園の最大の役目だと考えます。

年に数回、全日私幼連・本部がある東京・市ヶ谷へ出張に出掛けます。駅を降りて直ぐの小さな公園に、近隣の複数の園から来た園児達が先生と所狭しにかたまりになって留まっています。自由に遊ぶのではなく、他の園に迷惑を掛けまいと避難訓練のように留まりながら、遊ぶ姿(砂いじり)を見かけ「これが遊びなのか?」「自園の子どもたちとは大違い、何てかわいそう!」と毎回、痛烈に感じます。

毎日室内を中心にした生活を送っている子ども、かたや、日々好きな遊びを満喫しワクワク・ドキドキが止まらない子ども、進学までの間、最大で6年間を比べたら、どんな風になるのだろうか。

自発的な活動である「遊ぶ」を思う存分できる様、教師主導の活動に偏らぬ様、そんな教育環境が今、求められています。群馬という自然豊かな環境であっても、園や教師の姿勢・考え方ひとつで『遊ぶ』を尽くせない子を生んでしまいます。

子ども一人一人、みんな違い、内在するそれぞれの良さも様々であり、それを引き出す援助に力点を置けば、自ずと「子どもを主体の活動」を大切にする教育・保育になり、結果、子どもは達成感にあふれ、次への意欲と自信に満ち溢れた子になります。更に、他者への気遣いや協調も生まれ社会性が育ちます。そんな非認知能力あふれた子を育てる、群馬県の幼稚園・こども園を目指していきたくと考えます。

これまで以上に、先生方が子どもの理解を深め、各園で子どもを正しく援助・活躍できるよう、研修を柱に、協会は努めて参ります。

新年度を迎えてのごあいさつ

群馬県私学・青少年課長

川田 純子



本年4月1日に私学・青少年課長に着任し、未来を担う子ども達を育む仕事に携われることに、大きな喜びを感じています。

子ども達の健やかな成長を見守り、子ども達が楽しく有意義に過ごせる環境を整えるために常に心を砕かれている各園の皆様に、心から敬意を表します。

半世紀も前になりますが、私も3年間、幼稚園で大変お世話になりました。担任していただいた3人の先生のお顔は、今でも鮮明に覚えています。内気で人見知りをする子どもでしたが、先生方のおかげなのか、通園を嫌がったことは、ほとんどなかった

ように思います。ある日の帰宅後、同じ園に通っていた近所の友達と、自宅から少し離れた地域まで遊びに出掛けてしまったことがあり、翌日先生に叱られたことも大事な思い出の一つとして残っています。

現在では、少子化や核家族化の進展、共働き家庭の増加など、子ども達を取り巻く環境が大きく変化しています。

県では今年3月、子ども・若者にとっての最善の利益を優先し、「子ども達一人一人が大切にされ、全ての人が子どもの育ちを支える社会」の実現を目指して、「ぐんまこどもビジョン2025」を策定しました。幼児期は、子どもの将来にわたるウェルビーイング(幸福)の基礎を培う最も重要な時期であることから、育ちの環境の多様性を尊重しつつ、幼児期の生きる力の獲得を基本方針に据えています。

皆様方のお力をお借りしながら、一人一人の子どもが健やかに成長できるよう、質の高い幼児教育に努めて参りたいと考えています。

どうぞよろしくお願いいたします。

今年度の活動方針



「総務部の主な活動方針」

総務部長(副会長) 蜂須賀 和夫

○活動方針

本年度の当協会定時総会にて新たに知久会長が選任され、新体制がスタートしました。私も副会長として総務部長を務めさせて頂くことになりました。よろしくお願いします。

また協会組織が改編され、2部制となりました。研修体制を強化し、多様化する保育現場への確な研修や情報等を提供するためです。

研修以外のことが全て総務部の担当だと考えています。広報、ニューリーダーの会、群P連等、数え上げれば様々な分野をカバーする必要があると思いますが、総務部メンバーの皆さんと情報を共有しながら、ひとつひとつの課題をクリアしたいと思います。会員の皆さんにはご支援・ご協力をお願いする

ことが多くあると思います。どうぞ、よろしくお願い致します。

○事業計画

総会資料に記載されている事業計画を丁寧に実施していきたいと思ひます。

①総務

- ・予算の適切な執行と諸規定の整備
- ・乳幼児教育・保育の振興のため、賛助会員を募るための規程作成と募集

②経営・振興

- ・有益な情報を素早く会員園に発信
- ・市町村との連携を深めるための支援を実施
- ・群馬県私立幼稚園・認定こども園 PTA 連合会との連携

③広報・IT 関係

- ・機関紙を年3回発行
- ・協会ホームページの新規作成と管理

④人材確保・次世代育成

- ・必要な人材確保に繋がる事業の運営、協力
- ・次世代を担う人材の育成

その他、関係機関との渉外活動等に努めます。



「研究部の主な活動方針」

研究部長(副会長) 守山 俊尚

群私幼協会の体制が昨年度までの総務部・経営振興部・研究部の3部制から総務部・研究部の2部制へととなりました。さらに理事の人数割りも総務部が5名、研究部が14名と研修会に重きを置いた体制となりました。これまで総務部や経営振興部で行ってきた設置者園長研修や主任研修等々全ての研修が研究部の管轄となりました。それに伴い、研究副部長も3名となります。新採研も前期ⅠⅡⅢ、中期ⅠⅡⅢ、後期ⅠⅡとなっていたものを新採研①②③と名称も変わりました。さらに実技講座、中堅保育者対象講座という名称に自分がどの講座を受講したら良いのか分かりづらいという声を受け、以前使用していた初級講座、中級講座、上級講座とおおよその保育経験年数別としました。

少子化の影響により園児数は少なくなっていますが、保育の低年齢化、長時間化によりなかなか職員を研修会に参加させられないことと思いますが、質の高い保育を維持するために、よ

り良い研修を開催できるよう研究部一丸となって取り組んでまいります。

1. 研 修

- (1)教諭等の教育・保育の質的向上を目指し、研修俯瞰図に基づいた各種研究・研修会を実施する。
- (2)新規採用教員等研修会を県と連携して実施する。
- (3)設置者・園長研修会及び主任研修会を開催する。
- (4)県及び県教育委員会主催の研修会等へ協力する。
- (5)園児送迎用バス運転手講習会や次世代育成研修会、看護師研修会等を開催する。

2. 研 究

- (1)研究委員を中心とした研究体制の充実を図り、地区別研究委員研修会を推進する。
- (2)群私幼が必要と認める各種研修会と研究会への参加に配慮する。
- (3)会員園の経営の安定発展に資するため経営研究を行う。

3. 公開保育

- (1)会員園の教育・保育実践の質向上に資するため、本協会が委嘱する公開保育実施園を募る。
- (2)前項で委嘱された園の公開保育に協力する。

賛助会員の紹介

団 体

No	法人名・社名等	役職名	代表者名	会費(口数) ※1口50,000円
1	株式会社インスパイア	代表取締役	松山 裕也	1
2	株式会社ニシハタシステム	代表取締役	西畑 恭二	1
3	株式会社スマートエデュケーション	代表取締役社長	池谷 大吾	1
4	興禅寺	代表役員	権頭 俊澄	2

個 人

No	氏 名	職 業	勤務先名称	会費(口数) ※1口10,000円
1	権頭 俊澄	僧 侶	興 禅 寺	3

本協会の趣旨をご理解頂き、賛助会員としてご支援・ご協力を賜りましたこと心より感謝申し上げます。

各種委員会の計画等

研究委員会

研究委員会では東部、中部、西部の3地区の担当理事と常任委員が中心となって、自分たちが日ごろの保育の中でもうちょっと深く掘り下げてみたいと感じたことや、興味のあること、やりたい研究を持ち寄って研

究を進めていただくことができる場です。日々の保育でいっぱい日々の毎日だとは思いますが、自分の保育の参考とするために、自身の見識を広げるために積極的に参加していただきたいと思います。この研究委員会が群私幼協会の研究体制の大本であると考えております。各園からもどなたか委員ご推薦の上、積極的な参加をお願い致します。
(研究部長/守山 俊尚)

広報編集委員会

令和7年度から新体制となります。
2年間、どうぞよろしくお願い致します。

広報編集委員長 三津田 敬子(堤ヶ岡/総務部)
副編集長 守山 俊尚(いずみ/研究部)
副編集長 須田 征洋(のびのび/総務部)
編集委員 峰須賀 和夫(国分寺/総務部)
編集委員 櫛淵 洋介(ちくさ/研究部)
編集委員 関口 智行(山王/研究部)
編集委員 茂木 直(こひつじ/研究部)

編集委員 吉田 和人(いそべ/監事)
編集委員 若林 泰明(なかよし/監事)
編集委員 鹿野 翔太(わかくさ/監事)
研修会の報告や、身近な保育に関する情報など、皆様に楽しんでいただけるような広報誌を目指して編集を進めていきます。

【退任】 2年間大変お世話になりました。

広報編集委員長 河上 崇(えのき/総務部)
副編集長 中曽根 啓之(八幡/経営振興部)
編集委員 高橋 昇(桐生大学附属/総務部)
編集委員 榎本 美佳(なのかい/総務部)
編集委員 森下 幸夫(金山/経営振興部)



ニューリーダーの会

4月25日に行われた総会では、役員改選も行われました。今年度より代表幹事を務めさせていただき金子 礎と申します。どうぞよろしくお願い致します。

令和7年度の活動計画のひとつとして、昨年度に引き続き新採研での支援活動を予定しております。ニューリーダーの会として研修の1コマをいただき、カッター研修を行います。新採の教員の皆様にとって、良き学びの場となるよう、会員一同努めて参ります。

また、全教職員向けの体験型アクティビティ企画も予定しております。

昨年度は8月にラフティング・キャニオニング、2月にスノートレッキングを行いました。普段なかなか体験することのできない自然の中でのアクティビティで、思いっきり体を動かし心も体もリフレッシュできる内容となっております。全教職員向けの企画ですので、是非ご参加お待ちしております。

それ以外にもニューリーダーの会は、それぞれの園の情報交換や、業務での悩みなどを会員同士で相談できる場でもあります。随時会員を募集しておりますので、入会ならびに活動への参加、心よりお待ちしております。

(木の実幼稚園/金子 礎)

上半期の研修会等

新規採用教員研修①

令和7年4月1日(火)～4月8日(火) オンライン動画視聴

「幼児教育・保育の現状とさらなる質的向上を目指して」
「素敵な先生になってください」

権頭 俊澄 会長・守山 俊尚 副会長
塩崎 政江 先生

—— 静和幼稚園 猿谷 和香葉

4月2日、私は初めての研修に参加しました。就職した園について、保育者としての仕事、子ども達や自分への3つの誓いなどについて改めて考えることができました。私は、自分への誓いの1つに「頼りすぎず自信を持つ」ということを決めました。なぜなら自信がなく、頼りすぎてしまうところがあるため、仕事を覚えて堂々として他の先生方の力になれるよう頑張りたいと思ったからです。これらを考えることで、自分がどのように保育をするべきか、何を大切にしていきたいかを

きりとさせることができました。印象的な話について深く掘り下げて考えることで、欠かせないものを見つかることができました。保育の現場では「ほうれんそう」が欠かせず、人と人とのつながりを強くすることができると学び、実際に保育の現場でも意識していきたいと思いました。保育を楽しむことが大切だと気付け、保育者を目指した気持ちを改めて見つめ直すことができよかったです。自分も楽しみながら保育ができるようになりたいです。

新規採用教員研修②

令和7年5月23日(金) オンライン開催Zoom利用

「幼児期の教育の基本」
「カウンセリングマインドを生かした幼児・保護者との関わり方」
「保育に生かす記録と指導要録の記入について」

都丸 千寿子 先生
高橋 正明 先生
大島 崇 先生

—— いなり幼稚園 小原 莉奈

今回の講義では3つのことを学びました。

1つ目は幼児期の教育の基本。子ども達が自ら興味や関心を持てるように子どもの主体性や探究心を育てるうえで大切だと思いました。子ども達との信頼関係が築けるように保育者の私達は子ども達に寄り添い、共感的な声掛けを行っていききたいと思います。

2つ目はカウンセリングマインドを生かした幼児・保護者との関わり方。カウンセラーはクライアントが安心して話せるように寄り添いながら、気持ちを整理し問題の解決を手助けする。また、クライエン

トが心を開いて、素直に話すことができるように受容的な雰囲気を作ることが大切ということが分かりました。

3つ目は保育に生かす記録と指導要録の記入について。私は保育中に子どもの様子をキーワードでメモしていますが、今回の学びを通して、記録の重要性を改めて感じました。今後も継続して取り組んでいきたいと思っています。今回の講義で学んだことを実践できるように心がけながら行動していきたいです。



【令和7年度職員】

令和7年度職員を御紹介します。転出者につきましては、大変お世話になりました。
私学・青少年課

課長 川田 純子
(生活こども課より転入)

次長 高橋 紀幸

○私学振興係(幼稚園担当)

係長 小野山 嘉彦

主事 松田 直樹

主事 加藤 賢治

主幹専門員

堀口 和夫

こども・子育て支援課

課長 橋本 陽子

(健康長寿社会づくり推進課より転入)

次長 太田 和之

(生活こども課より転入)

○保育係

係長 佐藤 智子

(会計局会計管理課より転入)

主任 来原 俊幸

(住宅政策課より転入)

主事 関本 ちひろ

主事 齋藤 仁見

主事 五十嵐 達哉

保育指導員

岩崎 奈保子(新規採用)

【転出職員】

私学・青少年課

課長 太田 真美

(湯けむり国スポ・全スポくんま準備課へ)



前列向かって左から
私学・青少年課
高橋次長、川田課長、小野山係長
後列向かって左から
堀口主幹専門員、松田主事、加藤主事



前列向かって左から
こども・子育て支援課
来原主任、橋本課長、太田次長、佐藤係長
後列向かって左から
齋藤主事、関本主事、岩崎保育指導員、五十嵐主事



○私学振興係

主事 櫻井 香織

(中部環境事務所へ)

主事 深澤 郁哉

(秘書課へ)

こども・子育て支援課

課長 布見 洋美

(消費生活課へ)

次長 山本 龍

(教育委員会福利課へ)

○保育係

係長 遠藤 志保

(総務部総務課へ)

副主幹 荻原 辰弥

(デジタルトランスフォーメーション課へ)

副主幹 河内 聡志

(館林保健福祉事務所へ)

【転入職員の紹介】

私学振興係

主事 松田 直樹

今年度から幼稚園を担当する松田と申します。主に経常費補助金や認可等の業務を担当します。各地域の面白いお店やスポットを巡るのが趣味なので、ぜひお会いした際は園のある地域のまだ見ぬ魅力を教えてください！どうぞよろしくお願いいたします。

保育係

主任 来原 俊幸

この度、保育係に配属となりました来原と申します。主に子どものための教育・保育給付、各種補助金や交付金に関する業務を担当いたします。業務に誠実に取り組み、皆様のお役に立てるよう努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

保育指導員

岩崎 奈保子

今年度、保育指導員となりました岩崎です。主に認定こども園の保育指導でお世話になります。子ども、保護者、職員のみならず、安全に学び合う環境を、一緒に考えていけたらと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

幼児教育センターより

「の」のひみつ

Google マップを見ていたら、?!「の」があるではないですか。おもしろい、なんだろう、という思いに駆られ調べてみました。あるお宅の庭にある道でした。この心が躍る体験は、貴重な「溶解体験」(以前このコーナーで書きました)になりました。

今回は、「の」のひみつを探っていきたいと思います。なんの「の」かと言いますと、「発達段階」と「発達の段階」、「発達課題」と「発達の課題」、「環境構成」と「環境の構成」の「の」です。「の」が付くか否かで、それぞれが表す文言に違いはあるのでしょうか。

「の」が付くときは、例えば「環境」と「構成」を分けて捉えてほしいときなのだと考えます。すなわち、「発達段階」、「発達課題」、「環境構成」が従来もっている意味とは違う意味を表現したいのだろうと考えます。

「発達段階」とは、多くの人に共通して見られる発達の道筋であると言われています。一方、「発達の段階」とは、人生という道の過程での変容としての「発達」における、その人またはその人たちの今の位置という意味での「段階」と考えられます。

「発達課題」とは、人間が健全で幸福な発達をとげるために各発達段階で達成しておかなければならない課題であり、次

の発達段階にスムーズに移行するために、それぞれの発達段階で習得しておくべき課題があると言われていいます。一方、「発達の課題」とは、「発達」という人の生きる過程の中で、その人が乗り越えることで新しい世界が開ける意味での「課題」と考えられます。

「環境構成」とは、保育者が望んでいる遊びや活動を引き出すための材料や用具を用意し子どもの活動を誘発するという考え方を基にした物的環境を準備・配置することと言われています。一方、「環境の構成」とは、子どもの興味・関心に即した「環境」(もの、人、自然・社会現象、時間、空間、雰囲気など)を相互に関連させながら、その子どもにとって必要な体験を積み重ねていける状況づくりを「構成」と捉え理解することができます。

「の」のひみつを探る話はこれでおしまいです。様々な考え方はありますが、私なりの考えをまとめてみました。この思考過程は、私にとっておもしろくて刺激的な体験でした。

群馬県総合教育センター
幼児教育センター長

中村 崇



新役員の顔!



名前
所属／役職
園名／園での役職

- ①行ってみたい場所は?
- ②最後の晩餐に何を食べる?
- ③ドラえものの道具が使えたら何がいい?

会長



知久 賢治
会長
すぎの子幼稚園／園長

- ①常総・お湯結び
- ②梅すし
- ③人生やり直し機

総務部



蜂須賀 和夫
総務部／副会長・総務部長
国分寺幼稚園／園長

- ①南極
- ②すき焼き
- ③どこでもドア



須田 征洋
総務部／副部長
のびのびこども園／園長

- ①大山祇神社の宝物館
- ②生桜えびと生しらすの紅白丼
- ③世界を変える「もしもボックス」



榎本 美佳
総務部／理事
なのかいちこども園／園長

- ①国内でまだ行ったことのない県
- ②白米大盛に具沢山みそ汁、生姜焼き、納豆漬物梅干し!
- ③何でも叶う?『あらかじめ日記』



根岸 良太
総務部／理事
こまがた幼稚園／事務長

- ①無重力空間
- ②おいしいラーメン
- ③どこでもドア

研究部



守山 俊尚
研究部／副会長・研究部長
いずみ幼稚園／園長

- ①北海道はまだ行ったことがないので行きたい
- ②フグの肝
- ③タイムマシン



三津田 敬子
総務部／理事
堤ヶ岡幼稚園／副園長

- ①世界6ヶ所のディズニーランド制覇
- ②牛丼(高級な!)
- ③どこでもドア



榎淵 洋介
研究部／副部長
ちくさこども園／理事長・園長

- ①キューバ
- ②卵かけご飯
- ③もしもボックス



関口 智行
研究部／副部長
山王幼稚園／園長

- ①大自然や宇宙を感じられるようなサウナ施設
- ②ある物を感謝していただきます
- ③着せ替えカメラ



茂木 直
研究部／副部長
こひつじ幼稚園／園長

- ①夏の相模湾でマグロ釣り
- ②梅干しのおにぎり
- ③どこでもドア



今井 啓太
研究部／理事
二子山幼稚園／園長

- ①恐山
- ②焼肉
- ③タケコプター

研究部



小杉 あかね
研究部／理事
田部井幼稚園／園長

- ①オーロラが見えるところ
- ②白飯とみそ汁
- ③どこでもドア



山田 章善
研究部／理事
藤岡幼稚園／理事長・園長

- ①東京ドームのエキサイトシート
- ②チャーシュー麺
- ③タイムマシン



坂本 哲
研究部／理事
太田いずみ幼稚園／園長

- ①中国 武陵源
- ②かけうどん
- ③タイムふろしき



松村 芳子
研究部／理事
粕川幼稚園／園長

- ①世界一周旅行（ピースボート）
- ②おにぎり
- ③どこでもドア



田邊 裕代
研究部／理事
三山幼稚園／副園長

- ①ラップランド（フィンランド）
- ②おむすび
- ③どこでもドア



丸山 早苗
研究部／理事
すみれ幼稚園／副園長

- ①パチカン市国
- ②新潟港のぶり丼
- ③コンピューターベンシル



松倉 嶺元
研究部／理事
むつぎ幼稚園／園長

- ①大正時代の東京
- ②コーヒーとチョコレート
- ③キャンピングカプセル



柳澤 慶仁
研究部／理事
すみよし幼稚園／理事長

- ①テキサス州 フォートワース
- ②ごはん味噌汁と玉子焼き
- ③タイムマシン



眞下 恵一
研究部／理事
みよし第二幼稚園／理事長

- ①サントリー二島
- ②梅干しのおにぎり
- ③ソノウソホント



若林 泰明
監事
なかよし幼稚園／理事長・園長

- ①ニュルブルクリンク
- ②かつ丼
- ③翻訳こんにやく

監事



吉田 和人
監事
いそべこども園／園長

- ①安の滝（秋田県）
- ②消化のよいもの
- ③タケコブター



鹿野 翔太
監事
わかくさ幼稚園／園長

- ①ピラミッド
- ②色々食べたいです。
- ③どこでもドア

お世話になりました



＜前理事＞ 権頭 俊澄 先生（13期）ポケット幼稚園
内田 達也 先生（3期）元総社幼稚園
高橋 昇 先生（1期）桐生大学附属幼稚園
河上 崇 先生（1期）えのき幼稚園

森下 幸夫 先生（13期）金山幼稚園
永井 洋美 先生（3期）ひろせ幼稚園
松下 広美 先生（1期）城南幼稚園
中曽根啓之 先生（1期）八幡幼稚園

＜前監事＞ 樋口 佳子 先生（1期）さわらび幼稚園

今回の役員改選で退任された先生方、長い間ご尽力いただき、ありがとうございました。



子どもの目線から

『先生～お水がにこにこしているよ』

桐生大学附属幼稚園 川村 敬子

やわらかな春の陽射しがつつむ園庭から、満面の笑みで駆け寄ってくる園児がひとり。
『お気に入り、赤いバケツ』
戸外に出た瞬間、一目散にそれをめがけて走ります。毎日、バケツいっぱいのお水を砂場まで、せっせ せっせと運びます。広い砂場も重いバケツも、全てが初めての経験。2、3歩、進んだところで遊び着から靴までびちょびちょ！それでも目一杯のお水を一生懸命、運びます。「もぐらさんはいるかな？」「ありさんはデパートをつくっているかな？」絵本の中から想像した世界に入り込みます。
水道に近づき「バケツのお水を半分にしてみる？」と声をかけたい気持ちをぐっと堪え、私は見守ります。挑戦し経験し、自ら『適量』を学んでほしいからです。「おとなは忍耐力、子どもは想像力。」と、赤いバケツは私たちに教えてくれます。砂場で遊び始めて約半月、バケツの水はこぼれない程の量になりました。
砂場で遊ぶ子ども達が園を離れ、この先の人生でたくさんの選択を迫られる時、「適当に適度に」そして『いい加減にいい加減に』等身大の心地よい選択をしていけますように、と祈り信じる気持ちで毎日、見守ります。



子どもと楽しむ絵本

題名 『しゅくだい』

いしい幼稚園 吉原 智子

主人公のもぐ君のクラスで出た宿題は「だっこ」です。宿題のことを伝えようと喜んで家に帰りましたが、母親は下の兄弟の世話で忙しそうでなかなか言い出せません。お父さんとおばあちゃんの問いかけにより宿題の内容を知った家族は、愛情たっぷり笑顔でもぐ君をだっこします。
『しゅくだい』を通してお互いの心が満たされ、愛情を確かめ合うことができた様子が描かれています。子育てをしていく中で、手のかかる下の子を優先し上の子に寂しい思いをさせてしまうことも多いのではないかと思います。大人がその気持ちに気づき寄り添うことの大切さ、子どもとのスキンシップやコミュニケーションの大切さを改めて感じるお話です。いもとうよこさんの絵や文章が優しく、絵と内容が一体となって温かく心を包み込んでくれます。幼児だけでなく、気持ちが不安定になりがちな入学時や進級時の小学生の親子、保育・教育に携わる方たちにもぜひおすすめしたい絵本です。



文・絵/いもとうよこ
原 案/宗正 美子

お知らせ

表彰のお知らせ

白ゆりこども園の新藤みどり園長先生が高齢者叙勲瑞宝単光章を、いずみ幼稚園の守山俊尚園長先生が県総合表彰を受賞されましたのでご紹介いたします。



高齢者叙勲瑞宝単光章

白ゆりこども園
園長 新藤 みどり 先生

おめでとうございます



県総合表彰

いずみ幼稚園
園長 守山 俊尚 先生

おめでとうございます

幼保認こ合同就職説明会 開催のお知らせ

「幼稚園・保育園・認定こども園 合同就職説明会 in ぐんま 2025」

・日時 令和7年7月6日(日) 10:30～12:30 ・場所 ビエント高崎 ビッグキューブ
・主催 群馬県幼保認こ連合会 ・共催 群馬県

県との共催で3団体合同の就職説明会を開催いたします。3団体を合わせた参加予定園数は127、設置予定ブース数は119です(5/13時点)。今夏は開始時間が午前からに変更されております。

都合により合同就職説明会を欠席される園におかれましては、施設情報や求人票の登録・掲載をしていただき、幼保認こ連合会が運営する求人求職サイト「園マッチぐんま」をどうぞご活用ください。



編集後記

5月9日の定時総会で役員改選があり、203号より広報編集委員長を務めさせていただくことになりました。平成21年から6年間、編集協力委員をさせていただいていましたが、今回は編集長という大役を仰せつかりました。頂いたご縁を大切に、皆様に身近に感じていただける広報を目指していきたいと思います。

204号からは新コーナーが掲載されますので、楽しみにしてください。
(三津田/記)

次号204号は、令和7年11月18日(火)
に発行予定です。

